

歴史古街道団 2018年正月

## 年頭ご挨拶

当団が結成されてから早いもので14年目となりましたが、会員並びに運営委員一同、新たな活動目標も持って、今年もまた元気に、多摩丘陵や関連する各地の古街道と歴史を大いに学び、遊び、楽しみながら仲間づくりをしつつ、より広く地域社会に貢献していきたいと思っております。

会員の皆様におかれましては、また会員に関わらず広く古街道に興味やご理解を頂ける皆様におかれましても、「“地域の歴史と古道をこよなく愛する人々の”交流広場“」である古街道団をどうぞ利用・活用下さい。

当会の目的はあくまで「地域史研究の振興と古道・古街道の保全&活用」にあります。会の為ではなく地域・地方への貢献を念頭に活動を行っております。

尚、新年の活動は、「歴史ロマン古道ニュース新年号」が都合によりやや発刊が遅れましたが1月10日頃、お手元に届く予定です。

今年は多摩市一本杉公園内の古民家協でかねてより発見し、永いこと保全を夢見ていた「徳川家康の日光改葬の道＝御尊櫃御成道(ごそんひつおなりみち)」\*駿州・久能山から日光東照宮に家康の遺骸を移送した1300人の大行列の道の跡。後の江戸中期には相模大山参りで大変賑わった大山道でもある——の貴重な遺構(古道跡)と歴史環境を、多摩市公園課さんのお力添えとご指導、並びに「多摩グリーンボランティア森木会」さんのご理解の元、保全・管理の活動をさせて頂くことが決定いたしました。

これから順次、草刈や森の整備などを少しずつ進めていく計画を立て楽しみながら作業していくつもりです。皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

2018年は、さらに50代40代の方々や若い方にもっともこのワクワクするような「歴史古街道探索の楽しみ方」を広く知って頂けるように取り組み、また地元の方々や関連する他地域の志のある方々とも協力しあい、この後世に伝え遺すべき歴史資源や里山景観、古道を守っていける仲間づくり、理解者の協力関係を築けるよう尽力して参ります。どうぞ、みなさまのお力添えをお願い致します。

また、お知り合いやご家族にも声をかけて頂き、毎月2～5回行われるイベントにも奮ってご参加下さい。活動イベントの多くが「事前申し込み不要。途中合流・離脱もOK(個人の責任において、また仲間へ影響のない範囲、危険のない範囲で。また旅行・ツアーで無い日帰りイベントや申込制でない場合に限る)であれば“自由”」となっております。その日の体調や都合などに合わせて、どうぞお気軽にご参加頂き、大いに交流を広げて下さい。お待ちしております。

2018年1月5日 歴史古街道団 団長 宮田太郎